

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2024年6月14日まで（2014年8月18日設定）	
運用方針	<p>アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、各マザーファンド受益証券への投資割合は、それぞれ純資産総額の50%程度となるように調整します。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>アセアン通貨の中で複数の通貨（以下「対象通貨」といいます。）に分散投資を行い、各対象通貨の配分は概ね均等とすることを基本とします。なお、アセアン諸国の投資環境等に応じて、対象通貨の見直しまたは通貨の配分を変更することがあります。</p> <p>運用にあたっては、実質組入米ドル建て資産に対して、原則として米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。（このため、基準価額はすべての対象通貨の対円で為替変動の影響を受けます。）</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アセアン投資適格社債マザーファンド	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。
	アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	アセアン投資適格社債マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# アセアン社債ファンド （毎月決算型）



第65期（決算日：2020年1月15日）  
 第66期（決算日：2020年2月17日）  
 第67期（決算日：2020年3月16日）  
 第68期（決算日：2020年4月15日）  
 第69期（決算日：2020年5月15日）  
 第70期（決算日：2020年6月15日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「アセアン社債ファンド（毎月決算型）」は、去る6月15日に第70期の決算を行いましたので、法令に基づいて第65期～第70期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金			
41期(2018年1月15日)	円 10,509		円 25		% 92.8	% —	百万円 790
42期(2018年2月15日)	9,916		25	△ 5.4	92.9	—	762
43期(2018年3月15日)	9,816		25	△ 0.8	91.8	—	766
44期(2018年4月16日)	9,938		25	1.5	92.1	—	778
45期(2018年5月15日)	9,770		25	△ 1.4	92.0	—	768
46期(2018年6月15日)	9,761		25	0.2	92.5	—	767
47期(2018年7月17日)	9,711		25	△ 0.3	93.7	—	762
48期(2018年8月15日)	9,612		25	△ 0.8	93.7	—	713
49期(2018年9月18日)	9,539		25	△ 0.5	93.5	—	693
50期(2018年10月15日)	9,508		25	△ 0.1	94.5	—	680
51期(2018年11月15日)	9,676		25	2.0	91.5	—	691
52期(2018年12月17日)	9,720		25	0.7	92.3	—	686
53期(2019年1月15日)	9,595		25	△ 1.0	91.1	—	678
54期(2019年2月15日)	9,973		25	4.2	90.6	—	706
55期(2019年3月15日)	10,154		25	2.1	91.7	—	715
56期(2019年4月15日)	10,292		25	1.6	89.4	—	703
57期(2019年5月15日)	9,993		25	△ 2.7	92.2	—	670
58期(2019年6月17日)	10,114		25	1.5	91.2	—	670
59期(2019年7月16日)	10,321		25	2.3	91.5	—	675
60期(2019年8月15日)	10,031		25	△ 2.6	92.4	—	655
61期(2019年9月17日)	10,335		25	3.3	90.3	—	673
62期(2019年10月15日)	10,445		25	1.3	88.6	—	664
63期(2019年11月15日)	10,557		25	1.3	88.0	—	668
64期(2019年12月16日)	10,678		25	1.4	89.1	—	669
65期(2020年1月15日)	10,857		25	1.9	88.2	—	671
66期(2020年2月17日)	10,747		25	△ 0.8	90.2	—	661
67期(2020年3月16日)	9,601		25	△ 10.4	92.3	—	586
68期(2020年4月15日)	8,897		25	△ 7.1	87.5	—	540
69期(2020年5月15日)	9,260		25	4.4	88.8	—	557
70期(2020年6月15日)	9,950		25	7.7	88.8	—	597

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第65期	(期 首) 2019年12月16日	円 10,678		% —	% 89.1		% —
	12月末	10,726		0.4	88.4		—
	(期 末) 2020年1月15日	10,882		1.9	88.2		—
第66期	(期 首) 2020年1月15日	10,857		—	88.2		—
	1月末	10,695		△ 1.5	89.6		—
	(期 末) 2020年2月17日	10,772		△ 0.8	90.2		—
第67期	(期 首) 2020年2月17日	10,747		—	90.2		—
	2月末	10,584		△ 1.5	92.2		—
	(期 末) 2020年3月16日	9,626		△10.4	92.3		—
第68期	(期 首) 2020年3月16日	9,601		—	92.3		—
	3月末	8,960		△ 6.7	91.2		—
	(期 末) 2020年4月15日	8,922		△ 7.1	87.5		—
第69期	(期 首) 2020年4月15日	8,897		—	87.5		—
	4月末	9,126		2.6	88.7		—
	(期 末) 2020年5月15日	9,285		4.4	88.8		—
第70期	(期 首) 2020年5月15日	9,260		—	88.8		—
	5月末	9,583		3.5	88.7		—
	(期 末) 2020年6月15日	9,975		7.7	88.8		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

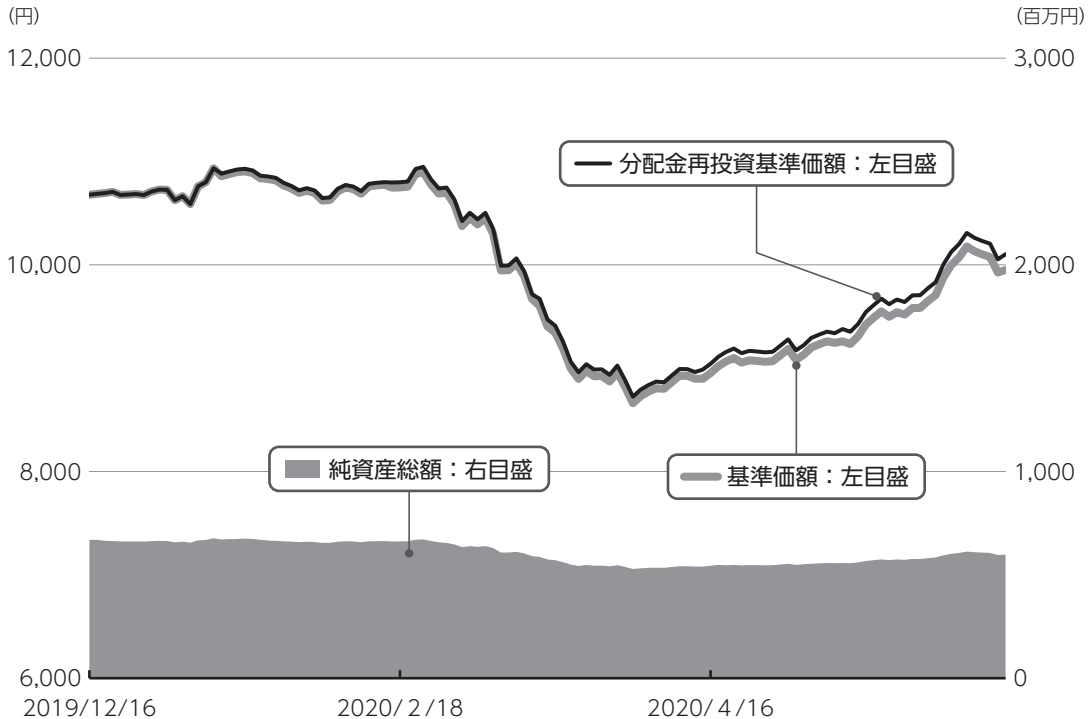
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第65期～第70期：2019年12月17日～2020年6月15日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第 65 期 首	10,678円
第 70 期 末	9,950円
既払分配金	150円
騰 落 率	-5.4%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ5.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

社債の спреッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大して債券価格が下落したことに加え、対象通貨（アセアン通貨の中の複数の通貨（以下「対象通貨」））（インドネシアルピア、マレーシアリングット、フィリピンペソ、シンガポールドル、タイバーツ）が対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
アセアン投資適格社債マザーファンド	-0.5%	46.0%
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	-5.2%	47.8%

第65期～第70期：2019年12月17日～2020年6月15日

## 投資環境について

### ▶ 社債市況

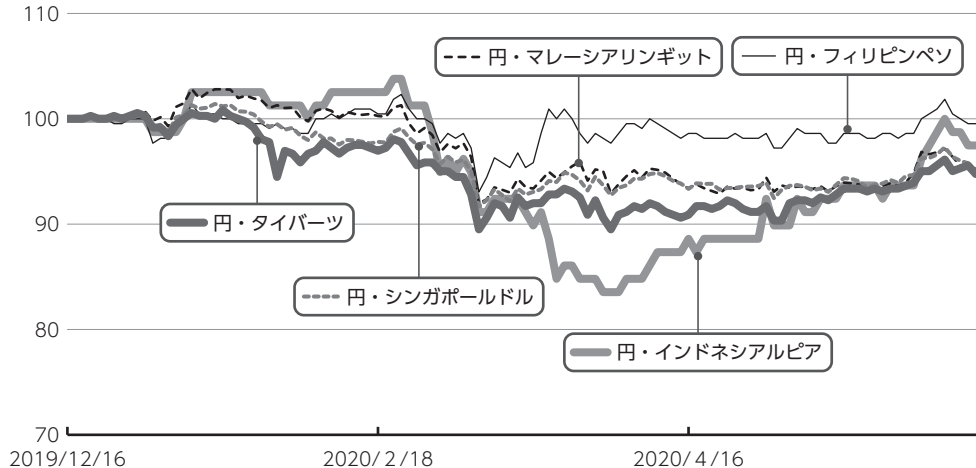
**アセアン投資適格社債市況は、米国金利が低下したものの、社債の спреッドが拡大したことなどから概ね横ばいとなりました。**

**アセアンハイイールド社債市況は、米国金利が低下したものの、社債の спреッドが大幅に拡大したことなどから下落しました。**

米国では、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、イラン情勢や新型コロナウイルスに対する懸念から米国金利は低下しました。その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が本格化する中、米国で政策金利の引き下げと国債や社債の買い取りの拡大が発表されたことにより、急激に米国金利は低下しました。5月以降は経済再稼働への期待が高まり、米国金利は徐々に上昇しました。当作成期を通じてみると、米国金利は低下しました。

社債の спреッドは、2020年2月中旬まではレンジ圏で推移しましたが、2月下旬に新型コロナウイルスの拡散が深刻化したことなどにより拡大に転じました。3月に入ると、新型コロナウイルスによる経済停滞への懸念や、投資家の現金需要の高まりなどから金融市場全体が混乱の様相を示し、スプレッドは急激かつ大幅に拡大しました。その後、各国政府・中央銀行が相次いで金融緩和政策を打ち出す中、特に欧米での新たな資産購入プログラムの導入が好感されたことなどから、3月下旬以降は、スプレッドは水準としては依然高位ながらも縮小しました。当作成期を通じてみると、社債の спреッドは拡大しました。

## 為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



### ▶ 為替市況

#### アセアン各国通貨は対円で下落しました。

当作成期首から2020年2月中旬にかけては、アセアン各国通貨は対円でまちまちな展開となりましたが、2月下旬に新型コロナウイルスの拡散が深刻化したことなどにより対円で下落しました。その後、3月から4月にかけてアセアン各国通貨は対円で底を打ち、新型コロナウイルスの感染者増加ペースの緩和や経済再稼動への期待により、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、アセアン各国通貨は対円で上昇しました。当作成期を通じてみると、アセアン各国通貨は対円で下落しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）

アセアン投資適格社債マザーファンドおよびアセアン・ハイイールド社債マザーファンドにそれぞれ純資産総額の50%程度の投資を維持しました。

また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引（NDF）等を行い、各対象通貨の配分は概ね均等を維持しました。

### ▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。

当作成期においては、債券格付別では、B B B 格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターへの多めの配分を維持しました。

### ▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。

当作成期においては、債券格付別では、B B 格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターおよび生活必需品セクターへの多めの配分を維持しました。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第65期 2019年12月17日～ 2020年1月15日	第66期 2020年1月16日～ 2020年2月17日	第67期 2020年2月18日～ 2020年3月16日	第68期 2020年3月17日～ 2020年4月15日	第69期 2020年4月16日～ 2020年5月15日	第70期 2020年5月16日～ 2020年6月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>25</b> (0.230%)	<b>25</b> (0.232%)	<b>25</b> (0.260%)	<b>25</b> (0.280%)	<b>25</b> (0.269%)	<b>25</b> (0.251%)
当期の収益	25	25	23	24	25	25
当期の収益以外	—	—	1	0	—	—
翌期繰越分配対象額	1,287	1,289	1,287	1,287	1,298	1,310

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）

アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。

### ▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティ（価格の変動性）が高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBBB格相当や金融セクターへの配分を多めとする方針です。

### ▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティが高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBB格相当や金融セクターおよび生活必需品セクターへの配分を多めとする方針です。

2019年12月17日～2020年6月15日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第65期～第70期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	84	0.846	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(41)	(0.412)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(41)	(0.412)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.015	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	86	0.861	

作成期中の平均基準価額は、9,934円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

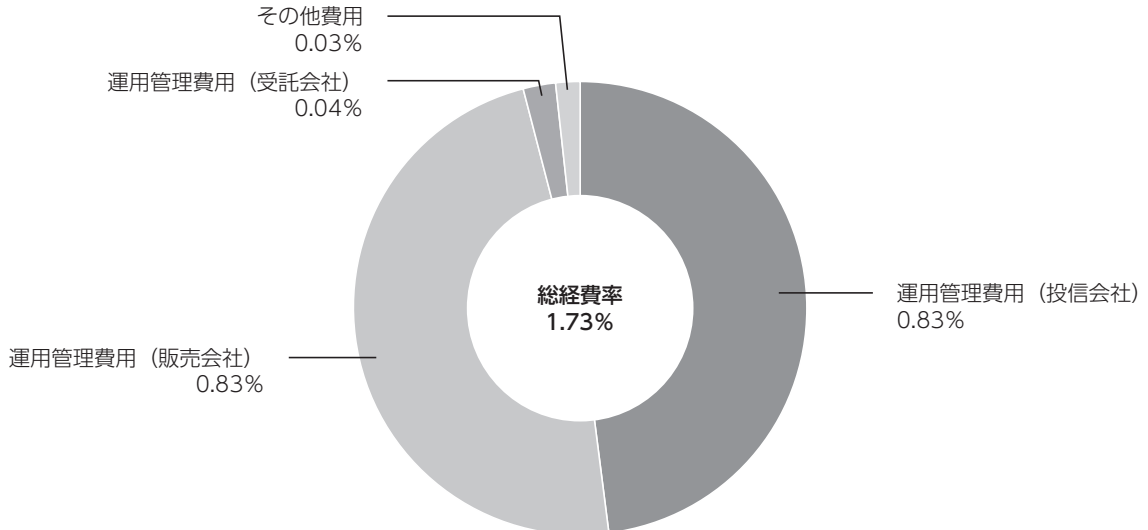
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.73%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年12月17日～2020年6月15日)

## スワップ及び先渡取引状況

種 類	第65期～第70期	
	取 引	契 約 金 額
直物為替先渡取引		百万円 836

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第65期～第70期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アセアン投資適格社債マザーファンド	—	—	32,641	45,000
アセアン・ハイワールド社債マザーファンド	—	—	14,408	19,000

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年12月17日～2020年6月15日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;アセアン社債ファンド（毎月決算型）&gt;

区 分	第65期～第70期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	1,189	275	23.1	1,182	232	19.6
為替直物取引	14	10	71.4	7	—	—

## &lt;アセアン投資適格社債マザーファンド&gt;

区 分	第65期～第70期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	—	—	—	71	24	33.8

平均保有割合 33.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## &lt;アセアン・ハイイールド社債マザーファンド&gt;

区 分	第65期～第70期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 13	百万円 3	% 23.1

平均保有割合 33.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年12月17日～2020年6月15日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2020年6月15日現在)

## スワップ及び先渡取引残高

種 類	取引契約残高
	第70期末想定元本額
直物為替先渡取引	百万円 308

## 親投資信託残高

銘 柄	第64期末	第70期末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセアン投資適格社債マザーファンド	千口 226,419	千口 193,778	千円 274,796
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	220,622	206,213	285,440

## ○投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	第70期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセアン投資適格社債マザーファンド	274,796	45.7
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	285,440	47.5
コール・ローン等、その他	41,282	6.8
投資信託財産総額	601,518	100.0

- (注) アセアン投資適格社債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（840,821千円）の投資信託財産総額（853,009千円）に対する比率は98.6%です。
- (注) アセアン・ハイイールド社債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（858,559千円）の投資信託財産総額（901,109千円）に対する比率は95.3%です。
- (注) 作成期末における外貨建純資産（16,106千円）の投資信託財産総額（601,518千円）に対する比率は2.7%です。
- (注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.24円			
------------------	--	--	--

## ○特定資産の価格等の調査

(2019年12月17日～2020年6月15日)

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	15

当作成期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末
	2020年1月15日現在	2020年2月17日現在	2020年3月16日現在	2020年4月15日現在	2020年5月15日現在	2020年6月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,192,244,255	1,184,510,329	1,091,781,340	896,845,743	972,024,277	1,076,240,915
コール・ローン等	19,478,268	26,859,806	26,438,721	55,500,416	26,266,024	20,005,672
アセアン投資適格社債マザーファンド(評価額)	324,009,300	323,466,937	297,539,828	258,325,747	265,030,474	274,796,896
アセアン・ハイールド社債マザーファンド(評価額)	324,376,365	320,465,264	287,630,176	255,539,686	265,747,251	285,440,633
未収入金	524,380,322	513,718,322	480,172,615	327,479,894	414,980,528	495,997,714
(B) 負債	521,001,204	523,002,595	505,258,763	356,728,337	414,722,396	478,790,275
未払金	516,948,774	520,216,399	502,861,366	354,447,711	412,450,241	474,988,279
未払収益分配金	1,545,598	1,538,789	1,527,248	1,517,695	1,504,572	1,501,125
未払解約金	1,581,700	230,579	39,374	—	8	1,459,461
未払信託報酬	922,624	1,014,069	828,482	760,858	765,470	839,122
未払利息	2	5	44	9	24	10
その他未払費用	2,506	2,754	2,249	2,064	2,081	2,278
(C) 純資産総額(A-B)	671,243,051	661,507,734	586,522,577	540,117,406	557,301,881	597,450,640
元本	618,239,224	615,515,813	610,899,467	607,078,188	601,829,037	600,450,235
次期繰越損益金	53,003,827	45,991,921	△ 24,376,890	△ 66,960,782	△ 44,527,156	△ 2,999,595
(D) 受益権総口数	618,239,224口	615,515,813口	610,899,467口	607,078,188口	601,829,037口	600,450,235口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,857円	10,747円	9,601円	8,897円	9,260円	9,950円



## ○損益の状況

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月15日	2020年4月16日～ 2020年5月15日	2020年5月16日～ 2020年6月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,981	3,776	4,655	△ 319	△ 851	△ 857
受取利息	3,429	3,935	5,056	329	15	7
支払利息	△ 448	△ 159	△ 401	△ 648	△ 866	△ 864
(B) 有価証券売買損益	8,902,170	△ 3,392,136	△51,760,784	△ 36,190,550	18,440,425	35,436,179
売買益	12,831,839	9,790,356	10,042,337	6,576,287	27,992,419	38,285,520
売買損	△ 3,929,669	△13,182,492	△61,803,121	△ 42,766,837	△ 9,551,994	△ 2,849,341
(C) 先物取引等取引損益	4,654,194	△ 809,849	△15,852,622	△ 4,200,621	5,655,075	8,320,027
取引益	5,111,965	1,450,651	26,203	1,688,276	7,313,212	8,804,369
取引損	△ 457,771	△ 2,260,500	△15,878,825	△ 5,888,897	△ 1,658,137	△ 484,342
(D) 信託報酬等	△ 928,446	△ 1,016,823	△ 830,731	△ 764,571	△ 769,175	△ 844,656
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	12,630,899	△ 5,215,032	△68,439,482	△ 41,156,061	23,325,474	42,910,693
(F) 前期繰越損益金	11,127,037	21,959,313	15,055,891	△ 54,436,012	△95,974,178	△73,878,642
(G) 追加信託差損益金	30,791,489	30,786,429	30,533,949	30,148,986	29,626,120	29,469,479
(配当等相当額)	( 57,412,592)	( 57,320,033)	( 56,950,680)	( 56,649,080)	( 56,227,613)	( 56,133,111)
(売買損益相当額)	(△26,621,103)	(△26,533,604)	(△26,416,731)	(△ 26,500,094)	(△26,601,493)	(△26,663,632)
(H) 計(E+F+G)	54,549,425	47,530,710	△22,849,642	△ 65,443,087	△43,022,584	△ 1,498,470
(I) 収益分配金	△ 1,545,598	△ 1,538,789	△ 1,527,248	△ 1,517,695	△ 1,504,572	△ 1,501,125
次期繰越損益金(H+I)	53,003,827	45,991,921	△24,376,890	△ 66,960,782	△44,527,156	△ 2,999,595
追加信託差損益金	30,791,489	30,786,429	30,533,949	30,148,986	29,626,120	29,469,479
(配当等相当額)	( 57,417,783)	( 57,329,113)	( 56,953,376)	( 56,651,866)	( 56,231,019)	( 56,134,666)
(売買損益相当額)	(△26,626,294)	(△26,542,684)	(△26,419,427)	(△ 26,502,880)	(△26,604,899)	(△26,665,187)
分配準備積立金	22,212,338	22,051,394	21,724,132	21,527,712	21,897,859	22,558,622
繰越損益金	—	△ 6,845,902	△76,634,971	△118,637,480	△96,051,135	△55,027,696

(注) (B) 有価証券売買損益および(C) 先物取引等取引損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

①作成期首（前作成期末）元本額 626,946,362円

  作成期中追加設定元本額 12,619,310円

  作成期中一部解約元本額 39,115,437円

  また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9950円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,999,595円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月15日	2020年4月16日～ 2020年5月15日	2020年5月16日～ 2020年6月15日
費用控除後の配当等収益額	2,293,617円	1,630,870円	1,416,940円	1,509,128円	2,126,460円	2,242,986円
費用控除後・繰越欠損金繰戻後の有価証券売買等損益額	2,008,252円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	57,417,783円	57,329,113円	56,953,376円	56,651,866円	56,231,019円	56,134,666円
分配準備積立金額	19,456,067円	21,959,313円	21,834,440円	21,536,279円	21,275,971円	21,816,761円
当ファンドの分配対象収益額	81,175,719円	80,919,296円	80,204,756円	79,697,273円	79,633,450円	80,194,413円
1万口当たり収益分配対象額	1,312円	1,314円	1,312円	1,312円	1,323円	1,335円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	1,545,598円	1,538,789円	1,527,248円	1,517,695円	1,504,572円	1,501,125円

## ○分配金のお知らせ

	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## アセアン投資適格社債マザーファンド

《第12期》決算日2020年6月15日

[計算期間：2019年12月17日～2020年6月15日]

「アセアン投資適格社債マザーファンド」は、6月15日に第12期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、市況動向などに応じて、一部、米国国債やアセアン諸国の現地通貨建ての公社債等に投資する場合があります。投資する債券は、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているもの、もしくは委託者の格付基準によりBBB一格相当以上の格付けを付与されているものに限ります。デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
8期(2018年6月15日)	円	%	%	%	百万円
	12,496	△4.0	97.7	—	978
9期(2018年12月17日)	12,933	3.5	93.7	—	970
10期(2019年6月17日)	13,503	4.4	95.5	—	914
11期(2019年12月16日)	14,256	5.6	90.1	—	930
12期(2020年6月15日)	14,181	△0.5	96.0	—	853

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2019年12月16日	円 14,256	—	90.1	% —
12月末	14,281	0.2	90.3	—
2020年1月末	14,408	1.1	90.6	—
2月末	14,696	3.1	90.6	—
3月末	13,633	△4.4	92.1	—
4月末	13,525	△5.1	96.5	—
5月末	13,966	△2.0	96.5	—
(期 末) 2020年6月15日	14,181	△0.5	96.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.5%の下落となりました。

## 基準価額等の推移



## ●基準価額の変動要因

## (上昇要因)

債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## (下落要因)

社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大して債券価格が下落したことに加え、米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎アセアン投資適格社債市況

- ・アセアン投資適格社債市況は、米国金利が低下したものの、社債のスプレッドが拡大したことなどから概ね横ばいとなりました。
- ・米国では、期首から2020年2月中旬にかけては、イラン情勢や新型コロナウイルスに対する懸念から米国金利は低下しました。その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が本格化する中、米国で政策金利の引き下げと国債や社債の買い取りの拡大が発表されたことにより、急激に米国金利は低下しました。5月以降は経済再稼働への期待が高まり、米国金利は徐々に上昇

しました。期を通じてみると、米国金利は低下しました。

- ・社債のспレッドは、2020年2月中旬まではレンジ圏で推移しましたが、2月下旬に新型コロナウイルスの拡散が深刻化したことなどにより拡大に転じました。3月に入ると、新型コロナウイルスによる経済停滞への懸念や、投資家の現金需要の高まりなどから金融市場全体が混乱の様相を示し、спレッドは急激かつ大幅に拡大しました。その後、各国政府・中央銀行が相次いで金融緩和政策を打ち出す中、特に欧米での新たな資産購入プログラムの導入が好感されたことなどから、3月下旬以降は、спレッドは水準としては依然高位ながらも縮小しました。期を通じてみると、社債のспレッドは拡大しました。

#### ◎為替市況

- ・為替市況は、米ドルは対円で下落しました。
- ・期首から2020年2月中旬にかけては、予想を上回る米国企業業績や続伸する株価などに支えられ米ドルは対円で堅調に推移しました。2月下旬には新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界的に米ドル需要が高まったことにより、米ドルは対円で急激に上昇した後、感染拡大が本格化した3月には対円で乱高下する展開となりました。その後、4月以降は新型コロナウイルスの感染者増加ペースの緩和や経済再稼働への期待、米国における第二波の懸念が交錯する中、米ドルは対円で上下に振れる展開が続きました。期を通じてみると、米ドルは対円で下落しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
  - ・アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。
  - ・当期においては、債券格付別では、BBB格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターへの多めの配分を維持しました。

#### ○今後の運用方針

- ・世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティ（価格の変動性）が高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBBB格相当や金融セクターへの配分を多めとする方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年12月17日～2020年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 2 (2)	% 0.011 (0.011)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	2	0.011	
期中の平均基準価額は、14,061円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年12月17日～2020年6月15日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 613	千アメリカドル 379 (200)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年12月17日～2020年6月15日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 71	百万円 24	% 33.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年6月15日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	6,950	7,638	819,162	96.0	—	53.9	31.9	10.2
合 計	6,950	7,638	819,162	96.0	—	53.9	31.9	10.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期末				償還年月日
			額面金額	評価額		千円	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル			
特殊債券	2.48 EXPT-IMPT BA 211020	2.48	200	199	21,428	2021/10/20	
	3.875 INDONESIA E 240406	3.875	300	309	33,201	2024/4/6	
普通社債券	2.25 PSA TREASURY 300430	2.25	200	207	22,242	2030/4/30	
	2.503 RHB BANK 211006	2.503	200	202	21,725	2021/10/6	
	2.95 BDO UNIBANK 230306	2.95	300	307	32,930	2023/3/6	
	2.993 PTTEP TREAS 300115	2.993	200	207	22,228	2030/1/15	
	3.375 TEMASEK FIN 420723	3.375	250	300	32,176	2042/7/23	
	4.25 GC TREASURY 220919	4.25	200	209	22,519	2022/9/19	
	4.25 OVERSEA-CHIN 240619	4.25	200	216	23,222	2024/6/19	
	4.25 PT PELABUHAN 250505	4.25	400	417	44,719	2025/5/5	
	4.4 SIAM COMMERC 290211	4.4	200	226	24,334	2029/2/11	
	4.5 PETRONAS CAPI 450318	4.5	200	245	26,277	2045/3/18	
	4.5 SINGTEL GROUP 210908	4.5	200	208	22,352	2021/9/8	
	4.625 BANK RAKYAT 230720	4.625	200	208	22,382	2023/7/20	
	4.625 MINEJESA CA 300810	4.625	200	202	21,738	2030/8/10	
	4.8 BANGKOK BANK 201018	4.8	200	202	21,687	2020/10/18	
	4.875 PELABUHAN 241001	4.875	200	210	22,544	2024/10/1	
	4.875 THAI OIL TRS 430123	4.875	200	229	24,591	2043/1/23	
	5.125 PERUSAHAAN 240516	5.125	400	416	44,707	2024/5/16	
	5.375 PERUSAHAAN 290125	5.375	200	228	24,527	2029/1/25	
	5.45 INDONESIA AS 300515	5.45	200	219	23,538	2030/5/15	
	6 PERTAMINA PERSE 420503	6.0	200	233	25,057	2042/5/3	
	6.15 PERUSAHAAN 480521	6.15	200	241	25,936	2048/5/21	
	6.35 PTTEP CANADA 420612	6.35	200	279	29,949	2042/6/12	
	6.5 PERTAMINA 481107	6.5	200	256	27,513	2048/11/7	
	6.5 PERTAMINA PT 410527	6.5	200	244	26,223	2041/5/27	
	7.39 POWER SECTOR 241202	7.39	200	244	26,240	2024/12/2	
	7.625 PETROLIAM N 261015	7.625	100	135	14,500	2026/10/15	
	FRN DBS GROUP HOL 281211	4.52	200	214	23,054	2028/12/11	
	VAR MALAYAN BANKI 261029	3.905	200	203	21,827	2026/10/29	
	VAR UNITED OVERSE 260916	3.5	400	408	43,780	2026/9/16	
合	計				819,162		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。



## ○投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 819,162	% 96.0
コール・ローン等、その他	33,847	4.0
投資信託財産総額	853,009	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(840,821千円)の投資信託財産総額(853,009千円)に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.24円		
------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	853,009,722 円
コール・ローン等	27,365,355
公社債(評価額)	819,162,932
未収利息	6,429,484
前払費用	51,951
(B) 負債	6
未払利息	6
(C) 純資産総額(A-B)	853,009,716
元本	601,522,932
次期繰越損益金	251,486,784
(D) 受益権総口数	601,522,932口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,181円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 652,456,479円  
 期中追加設定元本額 2,931,325円  
 期中一部解約元本額 53,864,872円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.4181円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUAM アセアン社債ファンド	407,744,710円
アセアン社債ファンド(毎月決算型)	193,778,222円
合計	601,522,932円

## ○損益の状況 (2019年12月17日～2020年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	16,947,493 円
受取利息	16,949,461
支払利息	△ 1,968
(B) 有価証券売買損益	△ 23,938,070
売買益	8,455,317
売買損	△ 32,393,387
(C) 保管費用等	△ 98,459
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 7,089,036
(E) 前期繰越損益金	277,707,362
(F) 追加信託差損益金	1,186,754
(G) 解約差損益金	△ 20,318,296
(H) 計(D+E+F+G)	251,486,784
次期繰越損益金(H)	251,486,784

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

### 《第12期》決算日2020年6月15日

[計算期間：2019年12月17日～2020年6月15日]

「アセアン・ハイイールド社債マザーファンド」は、6月15日に第12期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、市況動向などに応じて、一部、米国国債やアセアン諸国の現地通貨建ての公社債等に投資する場合があります。投資する債券は、原則として取得時においてB-格相当以上の格付けを取得しているもの、もしくは委託者の格付基準によりB-格相当以上の格付けを付与されているものに限ります。 デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
8 期(2018年6月15日)	円	%	%	%	百万円
	12,979	△4.3	92.3	—	975
9 期(2018年12月17日)	13,427	3.5	95.0	—	972
10期(2019年6月17日)	13,944	3.9	94.6	—	905
11期(2019年12月16日)	14,597	4.7	94.9	—	928
12期(2020年6月15日)	13,842	△5.2	93.3	—	877

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2019年12月16日	円 14,597	—	94.9	%
12月末	14,660	0.4	92.6	—
2020年1月末	14,657	0.4	95.1	—
2月末	14,769	1.2	94.7	—
3月末	12,546	△14.1	91.5	—
4月末	12,635	△13.4	90.1	—
5月末	13,432	△ 8.0	90.4	—
(期 末) 2020年6月15日	13,842	△ 5.2	93.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.2%の下落となりました。

## 基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

## (上昇要因)

債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## (下落要因)

社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大して債券価格が下落したことに加え、米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎アセアンハイイールド社債市況

- ・アセアンハイイールド社債市況は、米国金利が低下したものの、社債のスプレッドが大幅に拡大したことなどから下落しました。
- ・米国では、期首から2020年2月中旬にかけては、イラン情勢や新型コロナウイルスに対する懸念から米国金利は低下しました。その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が本格化する中、米国で政策金利の引き下げと国債や社債の買い取りの拡大が発表されたことにより、急激に米国金利は低下しました。5月以降は経済再稼働への期待が高まり、米国金利は徐々に上昇

しました。期を通じてみると、米国金利は低下しました。

- ・社債のспレッドは、2020年2月中旬まではレンジ圏で推移しましたが、2月下旬に新型コロナウイルスの拡散が深刻化したことなどにより拡大に転じました。3月に入ると、新型コロナウイルスによる経済停滞への懸念や、投資家の現金需要の高まりなどから金融市場全体が混乱の様相を示し、спレッドは急激かつ大幅に拡大しました。その後、各国政府・中央銀行が相次いで金融緩和政策を打ち出す中、特に欧米での新たな資産購入プログラムの導入が好感されたことなどから、3月下旬以降は、спレッドは水準としては依然高位ながらも縮小しました。期を通じてみると、社債のспレッドは拡大しました。

#### ◎為替市況

- ・為替市況は、米ドルは対円で下落しました。
- ・期首から2020年2月中旬にかけては、予想を上回る米国企業業績や続伸する株価などに支えられ米ドルは対円で堅調に推移しました。2月下旬には新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界的に米ドル需要が高まったことにより、米ドルは対円で急激に上昇した後、感染拡大が本格化した3月には対円で乱高下する展開となりました。その後、4月以降は新型コロナウイルスの感染者増加ペースの緩和や経済再稼働への期待、米国における第二波の懸念が交錯する中、米ドルは対円で上下に振れる展開が続きました。期を通じてみると、米ドルは対円で下落しました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
- ・当期においては、債券格付別では、BB格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターおよび生活必需品セクターへの多めの配分を維持しました。

#### ○今後の運用方針

- ・世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティ（価格の変動性）が高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBB格相当や金融セクターおよび生活必需品セクターへの配分を多めとする方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年12月17日～2020年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 2 (2)	% 0.013 (0.013)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	2	0.013	
期中の平均基準価額は、13,767円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年12月17日～2020年6月15日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 396	千アメリカドル 118 (200)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年12月17日～2020年6月15日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 13	百万円 3	% 23.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

## ○組入資産の明細

(2020年6月15日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	7,978	7,631	818,407	93.3	83.4	30.6	47.7	15.1
合 計	7,978	7,631	818,407	93.3	83.4	30.6	47.7	15.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期末			償還年月日
			額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	普通社債券					
	4.25 MEGAWORLD CO 230417	4.25	200	204	21,968	2023/4/17
	4.25 PT ADARO IND 241031	4.25	250	232	24,879	2024/10/31
	4.375 JGSH PHILIP 230123	4.375	200	207	22,290	2023/1/23
	4.45 SAKA ENERGI 240505	4.45	200	182	19,620	2024/5/5
	4.5 FPC TREASURY 230416	4.5	200	201	21,593	2023/4/16
	4.625 ICTSI TREAS 230116	4.625	200	202	21,737	2023/1/16
	4.75 INTERNATIONAL 300617	4.75	200	201	21,575	2030/6/17
	4.95 CHANDRA ASRI 241108	4.95	200	189	20,371	2024/11/8
	4.95 LISTRINDO 260914	4.95	200	203	21,769	2026/9/14
	5 PAKUWON PRIMA 240214	5.0	200	199	21,394	2024/2/14
	5.125 AYC FINANCE 660313	5.125	200	199	21,439	2166/3/13
	5.5 GLOBAL PRIME 231018	5.5	400	385	41,308	2023/10/18
	5.75 FIRST PACIFI 250530	5.75	200	205	22,015	2025/5/30
	5.75 VLL INTERNAT 241128	5.75	400	388	41,679	2024/11/28
	6.375 INDO ENERGY 230124	6.375	228	205	22,067	2023/1/24
	6.375 MEDCO BELL 270130	6.375	200	166	17,893	2027/1/30
	6.375 OXLEY MTN P 210421	6.375	200	189	20,270	2021/4/21
	6.5 JABABEKA INTE 231005	6.5	200	168	18,070	2023/10/5
	6.75 MEDCO PLATIN 250130	6.75	400	365	39,196	2025/1/30
	6.75 THETA CAPITA 261031	6.75	200	166	17,854	2026/10/31
	6.875 GOLDEN LEGA 240327	6.875	200	191	20,587	2024/3/27
	6.875 INDIKA ENER 220410	6.875	200	190	20,448	2022/4/10
	7 TBLA INTERNATIO 230124	7.0	400	365	39,248	2023/1/24
	7.5 OLAM INTERNAT 200812	7.5	300	301	32,335	2020/8/12
	7.625 PB INTERNAT 220126	7.625	200	182	19,624	2022/1/26
	7.75 BUKIT MAKUR 220213	7.75	200	166	17,829	2022/2/13
	9.375 NAGACORP LT 210521	9.375	200	201	21,643	2021/5/21
	FRN SMC GLOBAL PO 670725	6.5	400	393	42,199	2167/7/25
	VAR OLAM INTERNAT 491229	5.35	200	191	20,512	2049/12/29
	VAR PARKWAY PANTA 660127	4.25	200	198	21,287	2166/1/27
	VAR PETRON CORP 660719	4.6	200	187	20,155	2166/7/19
	VAR ROYAL CAPITAL 491229	4.875	400	392	42,038	2049/12/29
	VAR SMC GLOBAL PO 491229	6.75	200	200	21,501	2049/12/29
合	計				818,407	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 818,407	% 90.8
コール・ローン等、その他	82,702	9.2
投資信託財産総額	901,109	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(858,559千円)の投資信託財産総額(901,109千円)に対する比率は95.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.24円		
------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	901,109,980
コール・ローン等	70,734,260
公社債(評価額)	818,407,857
未収利息	11,967,863
(B) 負債	24,087,200
未払金	21,363,709
未払解約金	2,723,479
未払利息	12
(C) 純資産総額(A-B)	877,022,780
元本	633,598,550
次期繰越損益金	243,424,230
(D) 受益権総口数	633,598,550口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,842円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 636,349,647円  
 期中追加設定元本額 18,425,292円  
 期中一部解約元本額 21,176,389円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.3842円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUAM アセアン社債ファンド	427,385,117円
アセアン社債ファンド(毎月決算型)	206,213,433円
合計	633,598,550円

## ○損益の状況 (2019年12月17日～2020年6月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	24,931,864
受取利息	24,849,493
その他収益金	85,792
支払利息	△ 3,421
(B) 有価証券売買損益	△ 71,941,091
売買益	241,338
売買損	△ 72,182,429
(C) 保管費用等	△ 109,964
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 47,119,191
(E) 前期繰越損益金	292,532,326
(F) 追加信託差損益金	5,101,692
(G) 解約差損益金	△ 7,090,597
(H) 計(D+E+F+G)	243,424,230
次期繰越損益金(H)	243,424,230

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。